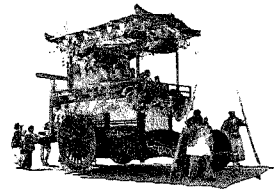


八朔祭屋台シリーズ 10



鰺沢町の山車

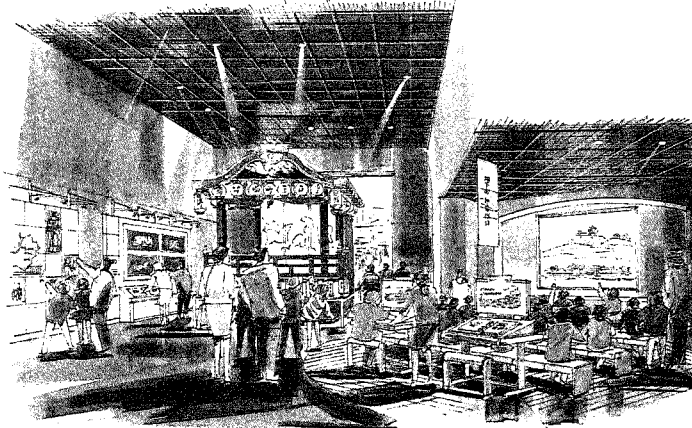
前回は、甲州街道をおとして八王子屋台の影響が、郡内の大月市富浜町鳥沢や富士吉田市上暮地の地域にも及んでいたということを紹介しました。が、谷村を中心とする郡内地域に限らず、県内においても屋台が曳かれる祭りがあります。

かつての富士川舟運の本拠地であり、雨畑(あまはた)で有名な鰺沢町には、四台の祭屋台が現存し、今も祭りにはこれらの屋台が巡行されており、この鰺沢は駿州・信州の往還の接点として重要な位置を占め、また、昔から地の利を生かして商業の町、宿場町として繁栄を極め、養蚕、織物で富を築いた谷村、上野原などはまた違った土壌の中で、祭屋台が作られていました。

また、同じ富士川沿いに位置する身延町の下山穴山神社でも、かつては八幡祭と呼ばれる秋祭りにおいて、各地区で屋台を繰り出して、その順序を競い合ったといわれています。

これまで各地域の祭屋台を紹介してきましたが、それぞれの地域に、様々な特徴を持った屋台を見ることができました。三大曳山祭りのひとつ、高山祭りの屋台は、

高山型ともいえるべき独特のカラー屋台でした。また、谷村の八朔祭屋台にも多くの影響を与えた八王子屋台は、現在、曳山彫刻史上を誇るといわれる豪華な彫刻が特色となつていますが、かつては屋根に人形が取り付けられた人形型



屋台でした。この他、江戸末期の八王子型人形屋台の様式、構造をとどめ八王子の影響を受けている上野原町、相模湖町の祭屋台など、屋台の大小に限らず、すばらしい祭りが現在も行われ、それと同時に人々の祭りに対する心意気が感じられました。

今回、改めてこれらの屋台と比較して、規模の大きさと、なによりも飾幕によって屋台美を創出している八朔祭屋台は、他にあまり例を見ないすばらしいものであることが実感できました。また、北斎など江戸時代を代表する有名な浮世絵師の下絵による屋台飾幕は、幕一枚で屋台が作れてしまう程の豪華さだといわれ、歴史的にも非常に貴重であり、芸術的にもその作品性は高く評価されています。

江戸時代の文化年間に早馬町・新町・仲町・下町の四町で作られた屋台の内、早馬町並びに下町屋台の修復や復元がすでに完了し、屋台展示庫に保管展示されていますが、本年四月には新たに新町屋台が高山祭屋台保存技術共同組合による復元工事が完了し、本市に戻って来ます。

祭りは、五穀豊饒や無病息災などの祈りとともに、昔からそこに暮らす人々の楽しみと喜びの場であり、地域のエネルギーが結集する大切な行事でした。かつての八朔祭に結集したエネルギーは、屋台や飾幕として結実し、現在まで大切に伝えられてきました。長年の修復や復元を通じて見事によみがえったこれらを末長く後世に伝えることは、大切な使命と思われまふ。

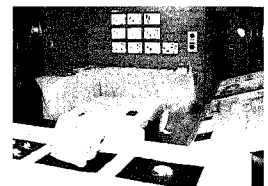
社会教育課 文化振興係

ネイチャーセンターガイド(1)

今月から、市内大幡にあるネイチャーセンターの常設展示、イベント、企画展、動・植物に関する情報を掲載します。また、施設内にある各サテライトの動物達の動きや植物の開花時期なども含めた観察ポイントも紹介します。常設展示の衣替えを行いました。

1階展示フロア

- 竹を利用した、風づくりなどの手づくりコーナー
- 県内外の博物館資料コーナー



2階展示フロア

- 野鳥観察コーナー
- アカネズミ、ヒメネズミ観察コーナー(昼間でも観察できます)
- リスの仲間、大集合(展示ケース)

フィールド(野外では)

- 森のサテライトの池に毎晩、イタチの仲間、テンが魚を食べにきています。ビデオでの録画もしています。



情報・お問い合わせは
都留いきものふれあいの里
ネイチャーセンター
☎(45)6222

One Point Cooking 食生活ひとしめ 9

わかさぎの唐揚げ

材料(4人分)

ワカサギ	200g
酢	大さじ6
しょうゆ	大さじ2
酒	少々
砂糖	大さじ4
小麦粉	少々
揚げ油	適宜

作り方

- わかさぎは水気を取り、小麦粉をまぶし、中温の油でカラリと揚げる。揚げ過ぎないように注意してください。
- 調味料を混ぜ合わせた中に、揚げたてのわかさぎをさっと入れ、器に盛りつけます。



減塩とカルシウム一杯の料理です。かぼちゃの煮物、レタス、キャベツ、人参、トマトなどを組み合わせるとボリュームのある食事になります。

都留市食生活改善推進員
谷村支部